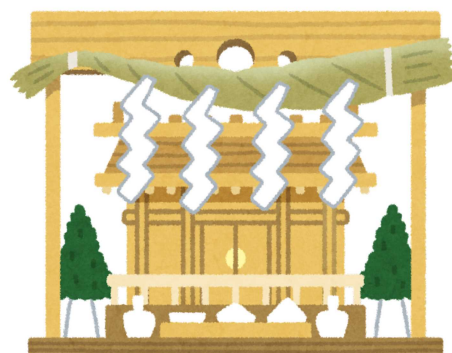


時計と神棚

どっちが
必要？



VS



「交差点No.698 東京の社員食堂が無くなりますよ!!」で、明らかにしましたが、福利厚生を劣化させ、徹底した経費節減＝ケチケチ管理が強行されています。

時間が売りの鉄道会社が、あえて時計を撤去する根拠とは!?

社員食堂だけにとどまらず、JR東海本体職場の一部と関連会社である関西新幹線サービックの職場の時計も撤去されました。

管理者に詰所の時計を撤去する理由について尋ねてみると・・・

「必要がないという意見があるから」「皆さん腕時計を持っていますから」との返答でした。

詰所を使う乗務員の誰一人に対してアンケートもとらないで、乗務員ではない、必要がないという考えの人物の意見のみを採用しようとしています。

また、腕時計は、最近になって付けるようになったのではなく、昭和から誰でも付けていたもので、撤去の理由には決してなりません。

そして、各運輸所に神棚があります。

安全・事故防止は、科学的根拠に基づいて構築していくものです。

まさか、神頼みで拝んで何とかかなると思っているのでしょうか!?(個人個人宗派それぞれあります。信心するのは自由ですが)

そこで、どっちが必要で、どっちが不要か?

を尋ねると・・・何とノーコメントでした。

皆さん!時計と神棚、どっちが必要ですか?

効率化、経費節減の影響は、加速していきます!!

これから、何十年も働く社員は、自ら声を上げて行きましょう!!